



発行人
石黒直文

E-mail:k-info@kaitaku.gr.jp URL:<http://www.kaitaku.gr.jp>

組織を大幅にスリム化

活動の旗は下ろさない

特定非営利活動法人「私設 北海道開拓使の会」の社員総会が5月24日に札幌市中央区のMNビルで開かれ、23年度の事業報告と決算、24年度事業計画と予算を原案通り承認しました。

総会には出席者12人、委任状16人で総数44人の過半数を超えて成立しました。冒頭あいさつした石黒理事長は「1994（平成6）年に任意団体として発足し18年が経過しました。この間、時代と社会的要求も変化し、変えるべきことは変えてゆかねばなりません。近年は道内各地で集会を開いてきましたが、いずれもすばらしく成果を挙げました。昨年は『東日本大震災被災者支援フォーラム』を開催し多くの方々が参加しました。また北海道への移住者が定着し会の同窓会的な役割が求められています。発足当時の会の精神は生きているものの難しい時期に来ているのも事実で、収入も減少しています。全員で支え合い志を立てた当時を思い起こして進んでゆきたい」と述べました。

このあと、石黒理事長が議長となって各議案の審議に移り、いずれも原案通り可決、馬杉栄一監事からの監査報告を承認しました。議事終了後、出席した石黒理事長、藤田副理事長ら各理事のほか社員の黒松内町（森本雅也さん）、藤崎史夫さん（仁木町）、三宅健吾さん（稚内）らがいさつしました。最後に理事長は「ご審議いただいた今年度の事業計画は、組織はスリム化しても旗を降ろすことなく活動を続けていこうというものです。縮小が後退を意味するのではなく創業・創造をするつもりで奮闘したい」と決意を述べました。

またサクランボとブドウの果樹園を経営する藤崎史夫会員から、農場見学とサクランボの試食を7月上、中旬の週末に行いたい旨の連絡がありました。ご希望の方は6月下旬までにメールか電話で申し込んでください。参加は園内で少量試食させてもらえるそうです。また発送の受け付けます。

（事務局の新体制については別稿で詳報します）